

特別活動〔学級活動〕

「どうぞよろしくの会」をしよう(第1・2学年)

1 目標

提案理由や話し合いのめあてを意識しながら、みんなで仲良く遊ぶための約束を決め、学級のみんなで楽しく集会活動を実践しようとする。

2 「法」に関する教育において育てたい児童・生徒像との関連

＜「法」に対する興味・関心＞

・みんなが楽しめる活動にするために、みんなで約束を決めることに興味・関心をもつ。

＜「法」に対する知識・理解＞

・みんなが楽しめる活動にするために、仲良く遊ぶための約束が必要であることに気付く。

＜「法」に基づき社会の形成に参画する態度＞

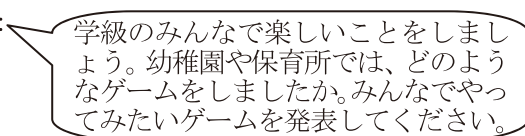
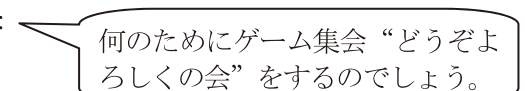
・みんなで話し合ってつくった約束を守り、楽しく活動に取り組もうとする。

3 「法」に関する教育とかわりのある主な指導内容との関連

本活動は、小学校学習指導要領特別活動〔学級活動〕の第1・2学年の内容〔共通事項〕(1)「学級や学校の生活づくり」、(第3 指導計画の作成と内容の取扱い)の(1)「(略)自分たちできまりをつくって守る活動(略)などを充実するよう工夫すること。」との関連を図って設定している。

4 指導計画

(1) 事前の活動(朝の会)

児童の活動	主な指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)
<p>1 活動の内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師から“どうぞよろしくの会”を開こうと投げ掛ける。 <p>T: </p> <p>C: フルーツバスケット C: 震源地はどこだ C: だるまさんが転んだ C: ハンカチ落とし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「みんなで集会を楽しみたい。」という思いを高め、議題づくりを行うようにする。 ○就学前の遊びの経験を思い出しながら、児童がやってみたいゲームを発表し、教師が児童の思いをまとめる。あらかじめ、集会で行うゲームを想定しておく。 ○1年生の発達段階を考えると、第1回目の学級会では児童の意欲を高めるために、出された意見からいくつかに絞る話し合いよりも、意見の多くが生かされる話し合いに重点を置くようにする。
<p>2 話し合い活動の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 提案理由(話し合いたいわけ)や話し合いのめあてを学級のみんなで話し合う。 <p>T: </p> <p>C: みんなと仲良くなるため。 C: みんなで楽しく遊ぶため。 C: 友達をたくさんつくるため。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師が出された意見をまとめながら、簡単な言葉にして、提案理由や話し合いのめあてをまとめる。 話し合いの柱を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○入門期の計画づくりは学級全体で行い、全員が進め方を理解できるようにする。 ○話し合い活動では、「提案理由」や「話し合いのめあて」がよりどころとなるため、入門期から、提案理由を述べることやめあてに沿って話し合うことの大切さを理解できるようにする。 ★みんなと仲良く楽しく遊ぶためには、約束が必要なことに気付かせ、今度の学級会で仲良く遊ぶための約束を話し合うことを伝える。 ○児童から出された意見を教師がまとめながら、「議題」「提案理由」「話し合いのめあて」「柱」を短冊に書き、学級活動コーナーに掲示しておくようにする。
<p>3 みんなと仲良く遊ぶために大切なことを考え、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★みんなと仲良く遊ぶためには、約束ごとが必要であり、その約束を守ることが大事であることに気付くようにする。 ＜「心のノート」(低学年P44・45)を活用＞

(2) 本時の活動 (学級活動)

①本時のねらい

提案理由や話し合いのめあてを大切にしながら、仲良くするための約束をつくることができる。

②本時の展開 (1時間扱い)

議題名	“どうぞよろしくの会”のやくそくを決めよう。	
提案理由	学級のみみんなで楽しく遊んで、仲良しの友達をつくりたいから。	
児童の活動	指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)	評価
<p>1 はじめの言葉を言う。</p> <p>2 役割を紹介する。</p> <p>T : これから第〇回学級会を始めます。進め役の〇〇です。黒板記録の〇〇です。ノート記録の〇〇です。よろしくお願いします。</p>	<p>〇1年生の入門期は、教師が司会と記録の両方を担当する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 □集会活動を楽しみながら、仲良くするための約束について進んで話し合っている。(行動、発言)</p> <p>【思考・判断・実践】 □提案理由やめあてに沿って考えたり、判断したりしている。(発言)</p> <p>【知識・理解】 □話し合い活動の基本的な進め方を理解している。(行動、発言)</p>
<p>3 議題を確かめる。</p> <p>4 提案理由を説明する。</p> <p>5 話し合いのめあてを確認する。</p> <p>6 先生の話聞く。</p> <p>T : 今日、話し合うことは〇〇です。提案者の〇〇さん、お願いします。今日の話し合いのめあては〇〇です。先生のお話です。〇〇先生、お願いします。</p> <p>“どうぞよろしくの会”をする日は4月〇日です。“どうぞよろしくの会”でするゲームは、「フルーツバスケット」と「ハンカチ落とし」です。今日は仲良くするために大切な約束を話し合って決めましょう。</p>	<p>〇入門期では、教師が司会と記録の見本を示しながら進め、1年生の後半には、少しずつ児童が役割を担うことができるようにする。</p>	
<p>7 話し合いをする。</p> <p><柱1> なかよくするためのやくそくをきめよう!</p> <p><話し合いのめあて> なかよしのともだちがたくさんできるように、みんなでまもるやくそくをきめよう。</p> <p>T : これから話し合いを始めます。柱1の〇〇について考えを出してください。</p> <p>C : けんかをしない。 C : ふざけない。 C : 話をしっかり聞く。 C : 押さない。 C : 同じ人ばかり当てない。</p>	<p>★提案理由の「楽しく」やめあての「仲良く」をよりどころにして、約束を決められるような話し合い活動とする。</p> <p>〇話し合いの進め方としては、考えられる意見を出し合い、似ている考えはまとめたが決定していくようにする。</p> <p>〇出された意見を生かし、約束を決めるようにする。</p>	
<p>8 決まったことを確認する。</p> <p>9 振り返りをする。</p> <p>10 教師の話聞く。</p> <p>11 終わりの言葉を言う。</p> <p>今日の話し合いでは、提案理由(話し合うわけ)や話し合いのめあてを考えて、学級のみみんなが楽しく仲良く“どうぞよろしくの会”をすることができるような約束を決めることができました。この約束を守って楽しい会にしましょう。</p>		

(3) 事後の活動 (学級活動)

児童の活動	主な指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)
<p>1 集会：“どうぞよろしくの会”をする。</p>	<p>★自分たちで決めた約束を確認し、守って楽しく活動できるようにする。</p> <p>★ゲームをしているときに、約束が守られない状況になった場合には、活動を中止して、みんなが納得してから活動を再開できるように、「めあて」や「約束」を再確認する場を設ける。</p> <p>〇活動後、すぐに振り返りの場を設ける。</p> <p>〇児童の感想を引き出しながら、次の活動に生かすことができるように教師がまとめていく。</p>
<p>2 活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達よかったところや頑張ったところを発表し合う。 ・学級全体でよかった点や今後の課題を話し合う。 	

特別活動〔学級活動〕 「みんなが楽しめるドッジボール大会にしよう」(第3・4学年)

1 目標

提案理由や活動のねらいを踏まえ、みんなが納得できるルールを決め、協力し合って楽しい集会活動を実践しようとする。

2 「法」に関する教育において育てたい児童・生徒像との関連

＜「法」に対する興味・関心＞

・みんなが楽しめる活動にするために、自分たちで工夫してルールをつくることに興味・関心をもつ。

＜「法」に対する知識・理解＞

・みんなが楽しめる活動にするために、自分たちで工夫してルールをつくる必要があることに気付く。

＜「法」に基づき社会の形成に参画する態度＞

・自分たちで話し合っつてつくったルールを守り、学級のみんなと協力して楽しく活動に取り組もうとする。

3 「法」に関する教育とかかわりのある主な指導内容との関連

本活動は、小学校学習指導要領特別活動〔学級活動〕の第3・4学年の内容〔共通事項〕(1)「学級や学校の生活づくり」、(第3 指導計画の作成と内容の取扱い)の(1)「(略)自分たちできまりをつくって守る活動(略)などを充実するよう工夫すること。」との関連を図って設定している。

4 指導計画

(1) 事前の活動(朝の会・休み時間)

児童の活動	主な指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)
<p>1 議題の収集・選定を行う。(朝の会)</p> <p>①集めた議題カードの中から、今回の学級会で話し合う議題を決める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「もっと学級のみんなと仲良くなりたいな。」 「学級のみんなとドッジボール大会をしたら楽しそうだな。」 「チームごとに作戦を考えたり、練習したりしたら○組がもっと団結できそうだよ。」</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>議題案 「ドッジボール大会にしよう」</p>	<p>○適切な議題の条件であるか確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・学級生活の充実と向上にかかわる問題であること。 ・学級の児童全員に共同の問題であること。 ・児童の自治的な活動として解決できる問題であること。 ・児童自らが解決の方法を見出すことができる問題であること。</p> </div> <p>○議題決定は全員で行い、議題を共有化できるようにする。</p>
<p>2 話し合いの計画・準備をする。(計画委員会…休み時間)</p> <p>①提案理由を吟味し、明確にする。 提案理由…もっと仲良しで協力できる学級にするために、学級のみんなと楽しくドッジボール大会をしたいから。</p> <p>②話し合いのめあてを決める。 話し合いのめあて…学級のみんなが楽しめるドッジボール大会にしよう。</p> <p>③議題を確認する。 議題…学級のみんなが楽しめるドッジボール大会の計画を立てよう。</p> <p>④役割分担をする。(司会、副司会、黒板記録、ノート記録)</p> <p>⑤話し合いの柱を決める。 柱1…学級のみんなが楽しく仲良くなれるようなルールをつくらう。</p> <p>⑥話し合いの計画を学級全員に知らせる。</p> <p>⑦話し合いの準備をする。…学級会カードの作成や短冊の掲示</p>	<p>○どのようなドッジボール大会にしたいか、提案理由を基に、話し合いのめあてを考えるようにする。</p> <p>★ドッジボール大会を行うために、決めておく必要があることを確認する。その中で、話し合いのめあてとの関連を考えて、今回の学級会でみんなと話し合っつて決めなくてはならないものに柱を絞るようにする。</p> <p>○学級会カードを事前に配布し、自分の考えをまとめておくことやルールやチームの案を短冊に書いて学級会コーナーに掲示しておくことを計画委員会より学級全体に伝えるようにする。</p>

(2) 本時の活動 (学級活動)

① 本時のねらい

話し合いのめあてを大切にしながら、学級のオリジナルのルールを決めることができる。

② 本時の展開

議題名	学級のみんなが楽しめるドッジボール大会の計画を立てよう。	
提案理由	もっと仲良しで協力できる学級にするために、学級のみんなで楽しくドッジボール大会をしたいから。	
	児童の活動	指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)
1	開会の言葉を言う。	◇本学級会の前に計画委員会が準備しておく事項 ・ドッジボールに関するアンケートを行い、楽しいときや楽しくないときのみんなの気持ちをまとめておく。 ・会の名前を募集するアンケートを作成し、集計して決めておく。
2	教師の話を書く。	学級のみんなが楽しめるドッジボール大会にするために、どんなルールにしたらよいか、学級目標や話し合いのめあてを踏まえて話し合いましょう。計画委員会がまとめたドッジボール調査隊のアンケートの意見も参考にしましょう。
3	話し合いをする。	
	<柱1> 学級のみんなが楽しく仲良くなれるようなルールをつくろう。	
	<p><話し合いのめあて> 学級のみんなが楽しめるドッジボール大会にしよう。</p> <p>C: ボールが当たると痛いから、やわらかいボールがいい。 C: 「お助けドッジ」にして味方がボールを捕ったら復活できるルールだと、当てられた人も楽しむことができる。 C: 当たっても一人3回まで投げられるルールだと苦手な人も楽しむことができる。 C: 「王様ドッジ」にして王様が残ったチームの勝ちというルールだとスリルがあっっておもしろい。 C: ボールは1個ではなくて3個にしたら楽しそう。</p>	<p>◇司会グループへの助言事項 (事前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めにアンケート結果を発表する。 ・様々なアイデアを出し、その後で賛成、反対意見を出してもらおう。 ・賛成意見の多い意見から決定する。 ・対立した意見に絞り、めあてを意識して話し合う。 <p>★提案理由の「仲良し」「協力できる」やめあての「学級のみんなが楽しめる」をよりどころにして、ルールづくりの話し合いができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安易に多数決を行うのではなく、それぞれの考えのよさを生かしながら意見をまとめるようにする。 ○話し合いの決定を方向付けてしまうような助言は控えるようにする。
		<p>◇本学級会の後に計画委員会で提案し決定しておく事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員の募集 ・プログラム ・役割分担
4	振り返りをする。	今日の話し合いでは、学級目標や話し合いのめあてを意識して、学級のみんなが楽しむことのできるドッジボール大会にするためのルールについて一人一人が真剣に考え、話し合うことができました。話し合いのめあてを意識した〇〇さんの意見、△△さんの意見がよかったです。学級のオリジナルルールもできて、ドッジボール大会が楽しみですね。
5	教師の話を書く。	
6	閉会の言葉を言う。	

(3) 事後の活動 (休み時間・学級活動)

	児童の活動	主な指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)
1	集会: 「みんなが楽しむことのできるドッジボール大会」までの準備をする。(休み時間) ・ドッジボール大会実行委員を決め、実行委員が中心となり、細かい計画や仕事の役割分担を行う。	○朝の会や帰りの会で、実行委員より決まったことを提案し、必要に応じて学級全体で話し合うようにする。
2	集会: 「みんなが楽しむことのできるドッジボール大会」をする。(学級活動)	★自分たちで決めたルールを守って楽しく活動できるようにする。 ○実行委員に協力し、スムーズに会が進行できるようにする。 ★勝ち負けにこだわるのではなく、会のめあてを意識して参加するように助言する。 ○問題が起きたら、自分たちで相談して乗り越えられるように助言する。 ○みんなでやり遂げた喜びを実感させるとともに、改善すべき点は次回に生かすように助言する。
	<p>ドッジボール大会プログラム</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめのことば 2. ルールの確認 3. ドッジボール 4. 成績発表 5. 先生の話 6. 終わりの言葉 <p>実行委員の役割分担</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会 ・審判 ・はじめと終わりの言葉 ・ルールの説明 ・審判 ・プログラム ・トーナメント表作り ・賞状、賞品 	
3	一連の活動を振り返る。 ・実践を終えて、各自で振り返りカードに記入する。 ・学級全体でよかった点や今後の改善点を話し合う。	

特別活動〔学級活動〕 「クラスボールの使い方のルールを決めよう」(第5・6学年)

1 目 標

ルールの意義について考えを深めるとともに、よりよい学校生活を送ることができるように、自分たちでルールをつくり、状況の変化に応じてルールを改善しようとする態度を育てる。

2 「法」に関する教育において育てたい児童・生徒像との関連

＜「法」に対する興味・関心＞

・よりよい学校生活を送ることができるように、様々な観点からルールを見直そうとする。

＜「法」に対する知識・理解＞

・他者とのかかわりや物を大切にすることを観点などからルールを見直すなど、状況の変化に応じてルールは改善していく必要があることに気付く。

＜「法」に基づき社会の形成に参画する態度＞

・学校生活を振り返ることを通して、自分たちで考えたルールを見直し、よりよいルールに改善しようとする。

3 「法」に関する教育とかかわりのある主な指導内容との関連

本活動は、小学校学習指導要領特別活動〔学級活動〕の第5・6学年の内容〔共通事項〕(1)「学級や学校の生活づくり」及び(2)「日常の生活や学習への適応及び健康安全」、(第3 指導計画の作成と内容の取扱い)の(1)「(略)自分たちできまりをつくって守る活動(略)などを充実するよう工夫すること。」との関連を図って設定している。

4 指導計画

(1) 事前の活動(道徳・学級活動)

児童の活動	主な指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)
<p>1 道徳「菊の水やり」を通して、ルールの大切さについて話し合う。</p> <p>①資料を読み、ゆう子の気持ちを吹き出しに書く。</p> <p>②まさ子の気持ちを吹き出しに書く。</p> <p>③ゆう子とまさ子の考えの違うところ、共通するところを話し合う。</p> <p>④ゆう子の立場になり、この後、どのような言葉をもまさ子にかけるか話し合う。</p> <p>⑤「菊の水やり」に取り組んだ感想を交流する。</p>	<p>★「菊の水やり」(自作教材)を通して、「ルールは何のためにあるのか」といった、ルールの意義について理解した上で、ルールを守ることの大切さについて考えられるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【菊の水やり】(自作教材)</p> <p>【話の概要】一人一鉢、菊を育てることになった。先生は、「菊作りのねらいは、一人一鉢、責任をもって育てること」とおっしゃった。それから毎日、自分の菊に、朝と放課後の2回水やりをすることになった。運動会の練習が始まったある日、私(ゆう子)は水やりを忘れていたことに気付いた。私とまさ子は、屋上の農園に、あわてて水やりに行った。私は、菊に水をあげた後、反対側のしおれかかっている菊を見て水をあげようとした。まさ子は、「だめだよ。先生が自分の鉢に責任をもてと言ったでしょう」と言った。私は、「このままではかれてしまうでしょ」と言った。まさ子は、「みんなで決めたルールでしょ」と言った。私は水をあげようとした手が止まった。</p> </div> <p>★ルールは何のためにあるのか、ルールの意義を考えることの大切さに気付くようにする。</p>
<p>2 学級活動(2)「クラスボールの使い方」について話し合う。</p> <p>①「ボールの片付け」の資料を読み、たかしとゆうたの主張の違いを話し合う。</p> <p>②クラスボールのアンケート結果を見て、感想を話し合う。</p> <p>③「ボールのひとりごと」の詩を読み、感想を話し合う。</p> <p>④次時の活動を知る。</p> <p>T:</p>	<p>★クラスボールを題材とし、自分たちがつくったルールは、他者とのかかわりや物を大切にすることを踏まえて適用するルールかどうか考えられるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ボールの片付け】(自作教材)</p> <p>【話の概要】たかしとゆうたたちは、校庭でドッジボールをして遊んでいた。20分休みの終わりのチャイムが鳴り始めたとき、たかしはゆうたにボールを投げ、命中させた。たかしは、「ゆうたが片付けるんだぞ」と言った。ゆうたは、「ボールを持っていたたかしが片付けろよ」と言ってボールを投げつけた。ゆうたの投げたボールは、校庭に1つ取り残された。</p> </div> <p>★たかしとゆうたの主張するルールが違っていることをとらえられるようにする。</p>
<p>⑤授業を振り返り、感想を書く。</p>	<p>★自分たちにとって都合のよいルールではなく、他者とのかかわりや物を大切にすることを踏まえて話し合います。</p> <p>★自分たちにとって都合のよいルールではなく、他者とのかかわりや物を大切にすることを踏まえて話し合います。</p>

次の学級会では、クラスボールの使い方のルールについて話し合います。自分たちにとって都合のよいルールではなく、学校全体のことやボールを大切にすることを踏まえて話し合います。

